

# 韓国語基礎講座 指示詞編

## 指示詞

	指示連体詞	指示代名詞 (物)	指示代名詞 (場所)	指示代名詞 (方向)
<b>이</b> 系列	<small>イ</small> <b>이</b> (この)	<small>イゴッ</small> <b>이것</b> (これ)	<small>ヨギ</small> <b>여기</b> (ここ)	<small>イッチョク</small> <b>이쪽</b> (こっち)
<b>그</b> 系列	<small>ク</small> <b>그</b> (その)	<small>クゴッ</small> <b>그것</b> (それ)	<small>チョギ</small> <b>저기</b> (そこ)	<small>クッチョク</small> <b>그쪽</b> (そっち)
<b>저</b> 系列	<small>チヨ</small> <b>저</b> (あの)	<small>チヨゴッ</small> <b>저것</b> (あれ)	<small>チョギ</small> <b>저기</b> (あそこ)	<small>チヨッチョク</small> <b>저쪽</b> (あっち)
<b>어</b> 系列	<small>オヌ</small> <b>어느</b> (どの)	<small>オヌゴッ</small> <b>어느것</b> (どれ)	<small>オディ</small> <b>어디</b> (どこ)	<small>オヌッチョク</small> <b>어느쪽</b> (どっち)

ヨ ギ ガ    チョ    サ ラ ミ    ダ ニ ヌ ャ    フェサエヨ  
여기가 **저** 사람이 다니는 회사예요.  
(ここが **あの** 人が 勤めている 会社です。)

### +α 話し言葉の이거, 그거, 저거, 어느 것

	基本形	이 (~が)	을 (~を)	으로 (~で)	은 (~は)
<b>書き言葉</b>	<small>イゴッ</small> 이것	<small>イゴシ</small> 이것이	<small>イゴスル</small> 이것을	<small>イゴ스로</small> 이것으로	<small>イゴ스ん</small> 이것은
<b>話し言葉</b>	<small>イゴ</small> 이거	<small>イゲ</small> 이제	<small>イゴル</small> 이걸	<small>イゴル로</small> 이걸로	<small>イゴン</small> 이건

チョン    イゴル       チョゴル로       チャッカケッソッソヨ  
전 **이걸** **저걸로** 착각했었어요.  
(私は **これを** **あれ**と 錯覚していました。)

## 日本語と異なる그系列の用法

話題にのぼっているけど、話している場には  
存在しない人や物とかを指し示す時や、  
聞き手が知らないものについては、「그系列」を使い、  
聞き手が知っているものについては「저系列」を使うと思うんですが、  
韓国語の場合ではそのどれも「그系列」になります！

つまり、場所の位置関係を表す「これそれあれどれ」  
以外の話題で使うもの以外は、「あの」とかの意味でも  
「그系列」を主に使います♪

チナンボネ    カッチ    カットン       ク       レストゥラン  
지난번에 같이 갔던 **그** 레스토랑,  
タシ    ハンボン    カゴ       シムネヨ  
다시 한번 가고 싶네요.  
(この前 一緒に行った **あの** レストラン, もう 一度 行きたいですね。)

### +α 厳しい言葉でも使われる ※書き言葉です※

イヌン       ウリガ       トウルリジ       アナッタヌン       チュンゴйда  
**이**는 우리가 틀리지 않았다는 증거이다.  
(**これ**は 我々が 誤ってなかったという 証拠である。)

指示連体詞の「이(この)」「그(その)」「저(あの)」は厳しい書き言葉では、  
それぞれ「これ」「それ」「あれ」という意味の指示代名詞としても用いられます。  
**あくまで厳しい書き言葉だし、無理して使う必要はありません♪**  
**以下のような形でも全然 OK です♪**

イゴ스ん       ウ리ガ       토울리지       아나타누ン      チュン고йда  
**이것은** 우리가 틀리지 않았다는 증거이다.  
(**これ**は 我々が 誤ってなかったという 証拠である。)